

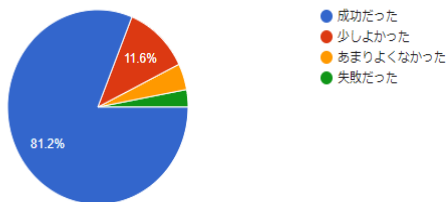
龍野城下町ふれあい夏祭りの開催!



8月24日に龍野城下町ふれあい夏祭りを開催しました。左の写真は6年生が企画したうちわ企画の様子です。昨年度に引き続き、表にお絵かきができるようにしておく、小さな子どもたちがたくさん描きに来てくれました。裏面に貼った龍野学の紹介(3年生以上の子どもたちが作成)も多くの方が読んでくださいました。また「なかよしの木」の企画では、台紙となる木に龍野地区のよいところや友だち・家族のすてきなところが記されていました。

夏祭りの子ども企画(うちわ、なかよしの木)は成功でしたか。

69件の回答



この作品は150周年記念式典(11月30日開催)にも展示しますので、お楽しみください。

これらの企画を5,6年生の子たちにふり返ってもらくと、約93%の子たちが納得している回答でした。その理由の記述には「みんな笑顔でうちわを受け取ってくれ、仲良しの木はたくさん貼られていて成功だと思いました。」といった同様のコメントがたくさん寄せられていたことから、達成感を感じた子が多かったことがう

かがえました。

また、「たつのっ子応援ステージ」も昨年度以上盛り上がりました。剣正会やバレー部の工夫いっぱいの発表、ブラスバンド部の素敵な演奏、そして新たな「ラケットボール」や「5年生女子の有志によるダンスチーム」が自分たちの思いをしっかりと伝えました。右の写真はダンスを披露する様子です。完成度の高さとチームワークの良さに会場全体がひきつけられました。



恒例となった「龍野小唄(左下写真)」も大勢の方が参加してくださいました。

5,6年生のアンケート記述にも「最後の龍野小唄を踊るときみんなが楽しく踊っていて結びあいの輪が広がったと思った。」とあるように、皆さんの笑顔が心に響いていますね。

龍野城下町ふれあい夏祭りの目的に「ふれあい・結びあいの輪を築くこと」があります。子どもたちの「五年生の子がダンスをしたり、部活動紹介、



龍野西中学校の吹奏楽部の方たちが演奏などをしたりしてくださったし、幼い子から高校生くらいまで来てたのでふれあい・結びの輪が広がったと思います。」の記述にもあるように、過ぎ行く夏のひと時、今後も様々な世代が集うこの夏祭りを継続したいと思いました。

龍野地区の夏祭りを訪れて



龍野地区の夏の風物詩といえば7月から8月の終わりまで続く「夏祭り」です。左の写真は、常照寺で開催された「妙見さんの七夕まつり」です。常照寺には1学期、1

年生はこども園5歳児さんといっしょに、2年生は生活科のまち探検で訪問し、住職様からお話をお聞きしており、子どもたちにとっても身近なお寺です。7月7日の七夕に開催されたこの祭りから龍野地区の夏祭りがスタートします。笹には願いの書かれた短冊が数多く結ばれ、出店にもたくさんの方々の笑顔がありました。

そして7月13日には粒坐天照神社の夏越祭りの開催されました。写真は、今から輪抜けをしようとするところです。多くの皆様も無病息災を祈念して輪抜けをし、出店を楽しんでいらっしゃいました。

さらに7月20日、かじょう会による土曜夜店が開催され、締めは8月24日の龍野城下町ふれあい夏祭りでした。龍野地区の夏の風物詩である夏祭りを肌で感じ、地域の皆様の心の温かさを実感しています。



「エデンの東」様、ありがとうございます



1学期、2年生がまち探検で「エデンの東」を訪れた際、ひとつのお願いをしていました。そのお願いというのが、「自分たちが育てた夏野菜を料理してほしい」ということでした。

子どもたちがナスを育て、届けたところ、7月12日にとってもおいしい料理となって、子どもたちのもとに届けてくださいました。一口食べるとみんなの顔は

満面の笑顔になり、あちらこちらから「おいしい」、「野菜が好きになった」といったつぶやきが聞こえてきました。

2年生の子どもたちの願いをかなえてくださった「エデンの東」様、本当にありがとうございました。

……………【龍野学 番外編】先生たちも重伝建地区を歩きました!……………



8月29日、龍野小学校の先生たちも、重伝建地区を歩き、学習しました。この日は、台風10号の影響もあって、あいにくの天候でしたが、学校の南門を出発し、6年生の学習で見学するコースを歩きました。写真は旧町名についてチェックしているところです。

実際に歩くとよく分かる重伝建地区の魅力。その魅力を感じる時間となりました。